

Die Eiche

ディ アイヘ

<http://www.jdg-chiba.com>



Japanisch-Deutsche Gesellschaft
der Präfektur Chiba
〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1
清和会第2ワールドナースィングホーム内
電話 047-461-9111 Fax 047-461-7010



ドイツ連邦共和国大使
Dr. Hans Carl von Werthern

ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン

協会創立 20 周年に寄せて



千葉県知事
森田 健作



貴千葉県日独協会創立 20 周年に対し、ここに心からお祝い申し上げます。

貴協会は習志野での日独双方によるドイツ軍人慰霊祭を契機として創立され、こうしたご縁から千葉において開放性に満ち相互交流に彩られた極めて緊密な絆が生まれました。

今日、良好な日独関係の礎となるのは、何よりも市民社会の交流です。この点において、日独協会は中核となる存在です。日本の多くの方々がドイツの歴史と文化に触れ、日独の個人の出会いが可能となるのは、日独協会会員の皆様のご尽力の賜物です。

ドイツの言葉や文化の勉強会、毎年のビール祭りでの気軽な集まり、そして何よりも学生交流への支援を通じて貴千葉県日独協会は日独関係共通の礎が将来においても維持されることに大きな貢献をされています。

会員の皆様には、こうした積極的なご活動に御礼を申し上げますとともに、貴創立記念式典が盛会となり、祝典を満喫されるよう願っております。(原文は2面)

千葉県日独協会の設立 20 周年、誠におめでとうございます。

貴協会は 1996 年 6 月に設立されて以来、20 年間にわたり、千葉県とドイツ、そして千葉県の友好都市であるデュッセルドルフとの間で、様々な国際交流親善活動を行ってこられました。こうした活動は、両国の相互理解を深めるとともに、ドイツ人の千葉県に対する深い理解をもたらしております。

また、貴協会には、千葉県の友好都市であるデュッセルドルフ市で開催される日本デーにおける千葉県の PR 活動や、フルトライン・ヴェストファーレン州からの奨学生受入などにも御協力をいただき、2005 年から始まった両県市の友好関係の発展に大きく貢献されております。特に、貴協会による若い世代への働きかけは、日独交流の将来の可能性を更に広げ、相互の国際理解・交流を一層促進しております。

貴協会の長年にわたるこれまでの功績に深い敬意を表すとともに、今後の更なる御発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



千葉県日独協会会長
金谷 誠一郎

当協会が設立されてから今年で早くも 20 年、人間でいえば「成人」です。ここで、協会設立当時の模様を振り返ってみますと、習志野に存在した第一次大戦による俘虜収容所で

1918 年、世界的に流行したスペイン風邪で 30 人のドイツ兵が亡くなられ、毎年「ドイツ国民哀悼の日」に大使館から武官が花輪を持参して慰霊碑に手向けられていました。

当時、東京の財団法人日独協会会員であった故加藤吉昭氏と同協会常務理事の故花井清氏は 1995 年の慰霊碑建立 40 周年慰霊祭を機に、これを目的とする協会を千葉県に設立する事で合意、加藤氏の親しい林静誠氏（社会福祉法人清和会理事長）と共に、千葉県の有力者に呼びかけました。同時に、日独協会には欠かせないドイツ語の先生の参加を要請するため、ドイツ語教育で指導的立場にあり、且つ東京日独協会の理事で房総出身の常木實東大名誉教授にお願いして県内在住の関係者を誘っていただきました。こうして「オールスターキャスト」の協会が翌 96 年に発足したのです。この由緒ある協会を持続発展させるためには、後継者の育成が是非とも必要であり、会員皆様のご協力を切にお願いする次第です。



思い出すままに ～協会スタートの頃、そしてこれから～

千葉県日独協会名誉会長
平尾 浩三

わが国のドイツ語教育界において指導的な役割を果たしておられた常木実先生は東京大学では私の上司にあたる方でしたが、その先生から 1996 年のある日、私は突然お電話をいただきました。〈千葉県日独協会〉というものが設立されるので、平尾もそれに入会せよとのお話。そういえばたしか、常木先生は房総のご出身で千葉県愛に燃えておられることに、私は思い当たりました。いきなりの命令に私が一瞬キョトンとして、例によってツベコベと尻ごみを始めると、「ともかく君、大いに働きたまえ！」これで電話は切れて、私の千葉県日独協会入会が実現したという、アッという間の出来事でした。

会員になったものの、現実には何をするのか、私は一向に把握できません。協会創立者で会長の加藤吉昭先生（歯科医学、特に補綴学の権威；日本大学名誉教授）のご指示に従っていれば良いんだろう、などと呑気にかまえていたうちに、何ということでしょう、加藤先生は病いに倒れられ、現役会長のまま逝去されたのです。会員はみな茫然自失。ご葬儀の帰途、悲しみに包まれながら早くも話題になったのは、創立されて間もない千葉県日独協会の会長役を誰かが引き継がねばならぬという厳然たる事実。

数日後、常木先生からまたお電話がかかります。いつもの一方的な調子で「ここは、平尾君が引き受けるんだね」。私は懸命に抗弁して「会長にはドイツ語学者を、と仰るのでしたら、大先輩の小野寺和夫先生が、協会にはおられますが……」「いやいや、小野寺君は偉い学者だが、声が小さい」という具合で、いったい私の何が評価されているのやら要領を得ぬまま、さし当たり会長職をお引き受けすることになってしまいました。ちなみに『ドイツ語不変変化詞辞典』（白水社）の編者の一人・小野寺和夫先生（当時 浦安市在住；東大名誉教授）は亡くなられるまで本協会顧問として、私たちをお助けくださいました。

それにしても、私、「さし当たり」お引き受けした筈の会長職に足かけ九年も居つづけようとは、人生の展開、まことに不可思議であります。狭い学界に鎖こもるばかりで、複雑多岐な世間については何も心得ず、アイディアも指揮能力も持たない私に、会長職が務められたのは、ひとえに優秀な方がたが周囲を固めてくださったからであり、感謝の思いが熱く湧いて参ります。中でも強調致したいのは、本協会顧問（2002 年まで理事長）林静誠様がお示しくださったご好意です。林様のお蔭をもって、わが協会は現在まで宿なしになることなく、ワールドナッシングホームを本部アドレスとして使わせていただいております。

会長時代の自分を思い返して連想されるのは、お祭りの情景です。高く持ち上げたり方向を修正したりしながら、みんなでお御輿を担いで行く。知恵と力を合わせてそれぞれが自分の持ち場を守りながら、汗だくになって担いで行く。ところが一向に役立たないオジサンが一人、御輿の階上に坐ってニコニコ笑ってばかり……このオジサン、これが私であったような気がするのです。

ささやかな集団に過ぎない千葉県日独協会ですが、何はともあれ、会員の情熱と結束によって実り多き活動がすでに二十年続けられて参ったことを、皆様と共に私も誇らしく思います。習志野で病没したドイツ将兵のための慰霊祭は申すまでもありませんが、同時にまた、ドイツ語・ドイツ文化についての講習会、日独文化交流をめぐる講演会、研修旅行等々等々、ますます多様で充実した、そしてバランスのとれた活動が、金谷誠一郎会長のイニシアティブのもとで着実に展開されてゆくことを、私は信じて疑いません。ただし、ビーアイベントといった愉快な宴も、どうかお忘れなく！

Grußwort des Botschafters: Zum 20-jährigen Bestehen der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Chiba

Zu ihrem zwanzigjährigen Bestehen gratuliere ich der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Chiba von ganzem Herzen.

Die JDG Chiba entwickelte sich aus einem gemeinsamen Gedenken an die Verstorbenen des Kriegsgefangenenlagers Narashino, und aus dieser Gemeinschaftlichkeit ist eine besonders intensive Partnerschaft in Chiba hervorgegangen, die von viel Offenheit und gegenseitigem Austausch geprägt ist. Das Fundament der guten Beziehungen zwischen Deutschland und Japan bildet heutzutage vor allem der zivilgesellschaftliche Austausch. Die Japanisch-Deutschen Gesellschaften stellen darin ein besonders wichtiges Element dar: Es ist dem Engagement der Mitglieder der JDGs zu verdanken, dass viele Japaner mit Deutschland, seiner Geschichte, seiner Kultur in Berührung kommen und dass sich Japaner und Deutsche ganz persönlich kennenlernen.

Mit ihren Unterrichtsangeboten in deutscher Sprache und Kultur, durch das einfache Zusammenkommen beim jährlichen Bierfest und besonders mit der Unterstützung des Studierendenaustausches, trägt die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Chiba aktiv dazu bei, dass dieses gemeinsame Fundament auch weiterhin bestehen bleibt.

Ich danke den Mitgliedern der JDG Chiba für diesen aktiven Einsatz und wünsche Ihnen allen eine erfolgreiche, vergnügliche Jubiläumsfeier. **Dr. Hans Carl von Werthern**

<千葉県日独協会 年表>

年	月 日	主 な で き ご と	内 容 な ど
1955 (S30)	11.13.	ドイツ軍人慰霊碑、御影石に	第1回日独合同追悼慰霊祭挙行。Dr.ハンス・クロール独大使主催
1970 (S45)	11. 4.	同慰霊碑、船橋市営霊園に	自衛隊習志野駐屯地から同市営習志野霊園建設に伴い移設
1986 (S61)	3.27.	石崎申之(のぶゆき)氏死去	戦後、荒れていたドイツ軍人の墓守を子息の満氏(会員)と続けた元陸軍少将。89歳。
...	..		
1995 (H 7)	11.19.	慰霊碑建立40周年記念	記念の慰霊祭を挙行。加藤吉昭、花井清、林静誠氏らが中心に
1996 (H 8)	6 1.	千葉県日独協会創立	ドイツ大使ディークマン夫妻、大橋・船橋市長ら来賓と祝賀パーティー
〃	11.17.	第2回ドイツ軍人慰霊祭挙行	Die Eiche 植樹される (1936年ベルリン五輪三段跳び優勝者田島直人氏受賞の苗木の子孫)
1997 (H9)	4.26.	年次総会開く 加藤吉昭・会長 選出	出席者会員、来賓など53人出席
〃	6. 1.	協会通信Die Eiche 創刊	A4版モノクロ2頁。総会で加藤会長、Dr.ブリュマー公使の挨拶、活動計画を掲載
〃	11.16.	第3回ドイツ軍人慰霊祭挙行	ドイツ大使館からP.トロプシューク国防武官、協会役員が出席。会員は自由参拝
1998 (H10)	11. 8.	第4回 〃 〃	
1999 (H11)	5.15.	年次総会開く	
〃	11.14.	第5回ドイツ軍人慰霊祭	
2000 (H12)	1.15.	「特別史料展『ドイツ兵の見たNARASHINO』(習志野市教委)	
〃	5.27.	年次総会開く	
〃	11.26.	第6回ドイツ軍人慰霊祭	
2001 (H13)	4.21.	年次総会開く	
〃	4.28.	加藤吉昭会長、逝去。享年73歳	
〃	9. 8.	臨時総会開く 平尾浩三・会長 選出	
〃	11.25.	第7回ドイツ軍人慰霊祭	
2002 (H14)	5.18.	年次総会開く	
〃	11.24.	第8回ドイツ軍人慰霊祭	
2003 (H15)	5.17.	年次総会開く	
〃	11.30.	第9回ドイツ軍人慰霊祭	
2004 (H16)	6.12.	年次総会開く	
〃	11.21.	第10回ドイツ軍人慰霊祭	
2005 (H17)	1.31.	常木實・協会顧問死去 享年91歳	
〃	5.14.	年次総会開く	
〃	10.20.	「ドイツに親しむ3日間」開催	
〃	11.20.	第11回ドイツ軍人慰霊祭	
2006 (H18)	6.16.	年次総会開く	
〃	10.14.	協会創立10周年記念祝賀会開催	船橋グランドホテルで、会員ら71人参加
〃	11.19.	第12回ドイツ軍人慰霊祭	
2007 (H19)	5.19.	年次総会開く	
〃	11.18.	第13回ドイツ軍人慰霊祭	
2008 (H20)	5.17.	年次総会開く	
〃	11.16.	第14回ドイツ軍人慰霊祭	「ドイツ捕虜オーケストラの碑」除幕(11.11.)が報告された
2009 (H21)	4.20.	全国日独協会連合会年次総会開催	～22: 幕張メッセ国際会議場で 史上初の29協会参加
〃	11.15.	第15回ドイツ軍人慰霊祭	
2010 (H22)	5.15.	年次総会開く 宗宮好和・会長 選出	平尾浩三・名誉会長に/ 新会長、第一次大戦のドイツ俘虜その後の調査研究を提案
〃	8.26.	第2回ドイツ人学生研修実施	
〃	11.14.	第16回ドイツ軍人慰霊祭	
2011 (H23)	2.19.	第1回ボトルシップ研究会開く	15人が参加。ドイツの1910年代アフリカ政策を勉強。HPを立ち上げ内外の情報収集へ
〃	5.14.	年次総会開く	
2012 (H24)	11.13.	第17回ドイツ軍人慰霊祭	
〃	5.19.	年次総会開く	
2013 (H25)	11.18.	第18回ドイツ軍人慰霊祭	
〃	5.18.	年次総会開く	
2014 (H26)	11.10.	第19回ドイツ軍人慰霊祭	
〃	5.16.	年次総会開く	
2015 (H27)	11. 16.	第20回ドイツ軍人慰霊祭	Die Eiche 91号で「慰霊祭20回特集」を発行 同号からフルカラー化など誌面一新
〃	1.17.	協会初のドイツ人学生ホームステイ実施:～25日まで2回に分けて千葉大留学の女子学生6人を会員宅に1泊2日で	
〃	5.16.	年次総会開く	一般会計健全化と協会20周年記念行事実施のため、会員へ寄付を呼び掛け
〃	8. 8.	ボトルシップ研、協会初の翻訳完成: ドイツ女医の「祖父リューアスの体験」(第一次大戦)を宗宮会長中心に会員9人で	
〃	11.15.	第21回ドイツ軍人慰霊祭	ドイツ演奏旅行を続ける県立千葉女子高オーケストラ部が初参加しドイツ国歌を演奏
2016 (H28)	4. 9.	Die Eiche 創刊以来100号に	1997年6月以来 記念号は「Eicheは何を伝えたか」を主な記事と講演会を一覧表に
〃	4.23.	年次総会 金谷誠一郎・会長 選出	宗宮好和・名誉会長に 金谷新会長「若手会員の拡大」などを呼び掛ける
〃	6.11.	協会初のロゴ決まる	Die Eiche 総集編(Ⅱ)のデザインも決まる
〃	10.22.	協会創立20周年記念祝賀式	Die Eiche 総集編(Ⅱ)No.47-100号発行/ Die Eiche 103号創立20周年記念号



←寄贈されたアイへと、林静誠氏
この若木は慰霊碑前に植樹された
(1面題字協の写真、参照)

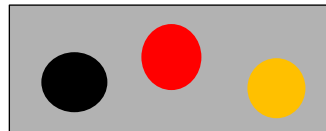


※協会の主要な活動である講演会(演題と講師など)は
Die Eiche 100号(2016年4月9日発行)一覧に掲載
したので、省略した。



大きな成果をあげた「ドイツに親しむ3日間」

協会主催 “日本におけるドイツ 2005/2006” 協賛 千葉大共催行事



1 年半にわたる準備と会員のべ 120 人を動員した、このイベントは 2005 年 10 月 20 日から 3 日間、千葉大学のけやき会館で行われた。講演や音楽、映画、千葉県内各地のドイツとの交流紹介、多彩な催し（一覧表参照）を通してドイツに親しんでもらおうというもの。期間中の来場者はのべ 1000 人を数え、協会活動に画期的な足跡を残した。

◆「ドイツに親しむ3日間」事業内容◆

2005(H17).10.20.(木)

13:00 -	テープカット
14:00 - 14:30	開会宣言・挨拶 / 千葉県日独協会会長、千葉大学、ドイツ大使館各代表
14:45 - 16:15	講演：平尾浩三 「ロマンチック街道はじまる場所」
16:30 - 17:10	ピアノ：高橋麻里子ベートーベン ピアノソナタ「悲愴」、シューマン「子供の情景」
17:20 - 18:20	講演：アストリッド・ベッカー「最近のドイツ事情」
18:30 - 20:10	映画「Die Brücke」(「橋」1959年ドイツ)

〃 10.21.(金) 総合テーマ「壁」

14:00 - 15:50	映画：“Die Brücke”
16:00 - 18:00	日独学生討論
18:00 - 20:00	映画“Good-bye Lenin” (「グッバイ・レーニン」2003年ドイツ)

〃 10.22.(土)

11:00 - 13:00	講演：子安美知子 マイケ・ロエダ 「あしたの国のまちづくりとシュタイナー学校」
14:00 - 15:45	チター演奏とヨーデル/チター：内藤敏子と門下生、ヨーデル：熱田健/アコーディオン：新倉恵
16:00 - 18:00	映画“Good-bye Lenin”



華やかだった
オープニングセレモニー

◇写真・資料展『ドイツと千葉県』◇ ～身近なドイツ再発見～

1	千葉県日独協会紹介
2	千葉大学とライプツヒ大学、ゲッティンゲン大学との交流
3	千葉県とデュッセルドルフ市の交流
4	市川市とローゼンハイム市姉妹都市交流
5	あしたの国のまちづくりとシュタイナー学校
6	佐倉順天堂とドイツ医学
7	川村記念美術館のドイツ彫刻 / 絵画展案内
8	麗澤大学とロストック、イエーナ、ハレ、トリアー大学との交流
9	東京ドイツ村紹介
10	御宿町歴史民族資料館・御宿町五倫文庫と ドイツ童話「ぼうぼう頭のペーター」
11	習志野市の第一次世界大戦ドイツ俘虜収容所

困難を乗り越え 成長を実感した「・・・3日間」 この行事は千葉県日独協会の総力を注いだ挑戦であった。この成功体験が協会にとって大きな財産となり、今日ある姿の礎を築く、エポックメイキングな出来事であった。

この行事は、日独両政府の申し合わせに従いドイツ政府が行った「日本におけるドイツ年—2005/6」に協賛する形で、千葉県日独協会が千葉大学との共催行事として 2005 年 10 月 20 日より 22 日の 3 日間、千葉大学けやき会館で催したものである。翌年には協会 10 周年を控え、かつ当年は千葉県とデュッセルドルフ市の友好交流のスタート年という、祝賀ムードが広がる中での催しであった。この行事に対する日独双方の関係方面の期待も大きく、3 日間で来訪者は 1000 人を上回ったことはその証であろう。

ドイツをより身近に感じてもらうという「3日間」の事業や写真・資料展のプログラムが決定された。しかし、計画から実行までの道のりは容易なことではなかった。弱小で未成熟な集団がこの大イベントをいかに無難にやり遂げるかは当初から不安がつきまっていた。多様な社会経験の持ち主で構成され、お互い未知の集団の融和を図りながら一つの目標にベクトルを合わせていくことは想像以上に困難を伴った。

幸い、自由闊達な議論が会員相互の意思疎通を導き、國枝誠昭副会長、橋口昭八常任理事（いずれも当時）を中心とする実行組織も固まり、役割分担体制も明確となったことで、準備は軌道に乗り、延べ 120 人を超える会員ボランティアの協力も得て無事開幕を迎えることができたのだった。

この総力挙げての行事遂行体験は、会員が行事に参画する意識を喚起し、協会への帰属意識を大きく高める効果が非常に大きかった。一方対外的には当会の存在がクローズアップされ、千葉県および共催の千葉大学と親密なチャンネルを広げることができて、当会の新たな無形の財産となった。

平尾会長（当時）が常々述べられていた、事に当たっては「なにごととも、身の丈相応で・・・」の実践を心掛けてきたが、これを機に身の丈が一段と成長したことをみんなが実感した一大行事であった。（小野 浩）



ドイツ語講習会 重ねて24回 多彩な会員講師陣に支えられて

当協会のドイツ語講習会は協会創立の翌1997(平成9)年から(財)東京日独協会主催・当会協賛「ドイツ語講習会船橋教室」として発足

し、2006(平成18)年から独自の講習会として続けられている。会員のベテラン教授陣に極めて少額の謝礼で登壇していただいていたお蔭で、他所ではみられない

安い会費と内容豊かな講習会になっている。

これまでの講習会は別表の通りだが、講師の顔ぶれは実に多彩だ。「ドイツ語でお世話になったお返しにドイツ語の普及に努めたい」と言われる平尾浩三・名誉会長はじめ、現役のドイツ語・ドイツ文学などを担当する大学教授、NHKや放送大学のラジオやテレビに長年出演している先生たちもいる。講義の内容も講師たちのお得意分野や個性によりユニークである。中世ドイツ文学から外国人がドイツに帰化するための試験問題など幅が広い。文法やドイツ語作文もある。会話講座もゲームやクイズを加えたり、場所を変えビールを飲みながらドイツ人留学生たちと会話を楽しむというコースもあった。教材は工夫を重ねられてゲーテやシュトルムなどの詩を学び音楽を楽しむこともある。大学や語学学校とは一風変わった独創的、ドイツ語に親しみを覚えながら実になる仕掛けである。このところ、年に一度の開催になっているが、会員だけでなくその友人、知人の参加もあり、さらに学校では履修できない高校生が加わったこともある。

ドイツ語講習会は協会活動の重要な柱である。会員講師たちのご支援に改めて心から感謝申し上げ、多くの会員が参加するようさらに内容充実に努めていきたい。(坂本 宗秋)

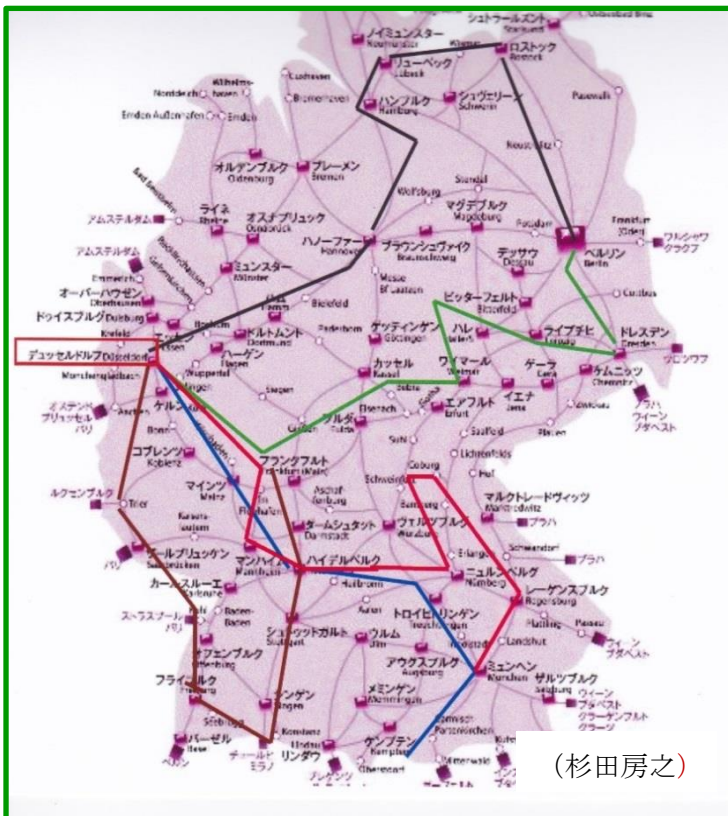
<ドイツ語講習会・勉強会>

開催時期	講義内容等	講 師	備 考
1997年10月～	① 入門コース	岡村三郎・早大教授	(財)東京日独協会主催・当会協賛
1998年3月	② 初級会話	Rita Briel・慶大教授	ドイツ語講習会船橋教室 教材Themen neu 2
98年4月～9月	① 入門会話	"	同上
	② 初級会話	"	同上
2000年4月～9月	① 初級会話1	Rene Grino Finder (Goethe Inst.教師)	同上
	② 初級会話2	"	同上
01年4月～10月 30回	中級クラス	伊藤誠一・当会会員	会員有志主催・当会協賛 ドイツ語船橋教室
04年5月～6月 5回	ハンス カロッサ「幼年時代」講読	平尾浩三・会長(東大名誉教授)	日本橋学館大学主催公開講座(柏市)
04年10月～11月 5回	みんなでドイツ語を読みましよう	"	同上
06年1月～3月 5回	ドイツ文学読書会第一回	"	当会主催ドイツ語講座の開始
" 10月～11月 5回	同上第二回	"	中世ドイツ文学 Nibelungenlied等の叙事詩から
07年4月～6月 7回	同上第三回	"	Heinrich von Kempten等多くの作品の抜粋
08年7月	特別公開講演会	岩崎英二郎・慶大名誉教授	演題:「ドイツ語のむずかしさ・おもしろさ」
" 10月 5回	ドイツ語・ドイツ文学入門	平尾浩三・会長(東大名誉教授)	Faust等中世から現代小説まで種々の文学
09年10月～11月 5回	ドイツ語文法と解釈	宗宮好和・会長代行(千葉大教授)	ドイツ語文章を読み解く為の方法とその為の文法
" 年7,9,11,～10年2,5月 5回	「楽しくドイツ語を話すタベ」	清野智昭・会員(千葉大准教授)	クイズやゲームで会話を練習
2010年10月 2回	ドイツ語文法と作文	宗宮好和・会長(千葉大教授)	
10年10月 2回	推理小説講読	平尾浩三・名誉会長(東大名誉教授)	「判事と死刑執行人」(Friedrich Dürrenmatt著)
10年10月～11月 3回	独作文演習	宗宮好和・会長(千葉大教授)	
11年2月～3月 5回	推理小説講読	平尾浩三・名誉会長(東大名誉教授)	「判事と死刑執行人」(Friedrich Dürrenmatt著)
" 10月～11月 5回	「神は本当にいるか？」講読	"	Gibt es Gott? (Luise Rinser著)
12年10月～11月 5回	ドイツ中世の物語講読	"	「中世の物語二編」
13年11月～12月 5回	和文独訳	清野智昭・会員(千葉大准教授)	Schreiben wir Deutsch! 自然なドイツ語を書く
14年11月～12月 5回	童話講読	岡村三郎・当会理事(早大教授)	Der Löwe Leopold (Leine Kunze)
15年10月～12月 5回	ドイツ国籍取得試験問題	木戸芳子・当会理事(東京音大教授)	ドイツ人としての広範囲の常識問題

2016年	開催日	曜日	時間	場 所	内 容 な ど
ドイツ語講習会	10/24	月	毎回	船橋市中央公民館	<ドイツ語で読む現代ドイツ>
	11/7	"		=船橋市本町2-2-5	講師: 木戸 裕・当協会理事、元国立国会図書館専門調査員
	11/14	"	18:10	Tel:047-434-5551	教材: メディア等から収集した現代ドイツ事情①ベルリンの壁開放と
	11/28	"	～		ドイツ統一②ヨーロッパ統合へ向けてのcitizenship教育など。
	12/5	"	20:00		会費(教材費込): 会員¥3500 / 一般¥4000 / 学生¥2000
申込最終日: 10/23(日) 申込・問合せTel:080-4463-2609(受付専用)、9:00-17:00まで。 E-mail: info@jdg-chiba.com					

のべ127人が参加した 思い出のドイツ旅行 ～Düsseldorf日本デーと5つのルートで～

協会主催のドイツ研修旅行は2006年、創立10周年の記念事業として始まった。以来20周年の今年まで5回、ドイツのほぼ全土を歩いた(下図参照)。千葉県と友好提携都市の関係にあるDüsseldorf市日本デー参加と、訪れた都市と人びと、森、古城、父・母なるラインとドナウ。“私たちのドイツアルバム”にそれぞれ鮮やかな一頁を刻んでいる。会員たちによる多彩でユニークな事前勉強会(右表参照)も一連の旅の内容をより豊かなものにしている。(国内旅行は7頁)



(杉田房之)

＜ドイツ旅行事前勉強会＞ (講師敬称、略)

旅行	タイトル	講師
①	——	——
②	「ゲーテとその詩情」	平尾 浩三
	「マルチン・ルターの生涯」	國枝 誠昭
	「バッハ、音楽の故郷ドイツ」	友野 信善
	「ベルリンと私の音楽生活」	野村 陽子
③	「ドイツワインとビール」	近藤 弘
	「ハンザ都市の文化遺産」	岡村 三郎
	「トーマス・マン、その落穂ひろい」	澤井 秀之
	「旅の見どころ」	橋口 昭八
	「シューマン生誕200年に寄せて」	土屋 有里
④	「旅の見どころ」	橋口 昭八
	「チュービンゲン—歴史と文化—」	宗宮 好和
	「ドイツの森・グリムの森」	大野 寿子
	「中世への旅」	平尾 浩三
⑤	「千葉県とデュッセルドルフ」	橋口 昭八
	「当協会と独日協会アム・ニーダーライン」	杉田 房之
	「ドイツ音楽への誘い—ワグナー—」	土屋 有里
	「ローマとゲルマン&リーメス」	田中 正延
	「中世への旅—騎士と城」	平尾 浩三



＜↑ 2016年 ミュンヘン・ホーフブローイハウスで＞

③2010. 5. 27～6. 5 ——— : D市日本デー参加とハンザ都市、リュネブルガーハイデの旅(30人) フランクフルト～D市～ハーメルン～ツェレ～ヒッツアッカー～リュネブルク～ハンブルク～リュネバック～ヴィスマール～ロストック～ベルリン/思い出の一言「壁崩壊20年後、旧東ドイツの復興に目を見張る。観光化されておらず懐かしの風景が心に残る」(同、小野寺輝孝)

④2012. 6. 1～10 ——— : D市日本デー参加と南西ドイツの旅(23人) フランクフルト～D市～トリア～シュトラースブル～コルマール～フライブルク～ドナウエッシンゲン～コンスタンツ～ジルマリンゲン～ヘッヒンゲン～チュービンゲン～ハイデルベルク～フランクフルト/思い出の一言「森の民ゲルマンを象徴する黒い森の偉容。“美しき青きドナウ”の源泉が小さな池であることの驚き」(同、吉田千賀子)

⑤2016. 5. 20～29 ——— : D市日本デー参加と古城街道の旅(22人) D市～マンハイム～ハイデルベルク～バートヴィンツフェン～シュベールビッシュ・ハル～ローテンブルク～ニュルンベルク～バンベルク～クルムバッハ～コーブルク～バイロイト～クルムバッハ～ミュンヘン/思い出の一言「新緑のネッカーの流れ見下ろすや 古城に想う中世の騎士」「流れ急ドナウを上る 船旅や ビール楽しむ初夏の陽射しに」(同、杉田房之)

①2006. 5. 19～26 ——— : 協会設立10周年ドイツ研修ロマンチック街道(21人) デュッセルドルフ(D市)～ハイデルベルク～ローテンブルク～ミュンヘン～フュッセン/思い出の一言「遅い春のドイツを満喫。ビールと旬の白アスパラガスを堪能した」(Die Eicheから橋口昭八＝以下、敬称略)

②2008. 6. 13～22 ——— : D市日本デー参加とゲーテ街道(31人) D市～フランクフルト～アイゼナッハ～ヴェルニゲローデ～アイスレーベン～ヴァイマル～ライプチヒ～ドレスデン～ポツダム～ベルリン/思い出の一言「日本デーは現地紙を飾った団員の舞踊と団員全員による支援で千葉県とD市の交流深化に大きな貢献ができた」(同、橋口昭八)

日独交流 150 周年記念 菩提樹植樹活動 千葉県内 8 市 1 町に

日本とドイツ（当時、プロイセン）の
修好通商条約が締結
されたのは 1861 年 1
月 24 日。それから
150 年にあたる 2011
年、ドイツ大使館か
ら菩提樹の苗木 167
本がわが国に ↓



↑ 菩提樹の植樹をするグトードイツ大使館
武官と、宗宮好和会長、林静誠顧問
(2011 年 11 月 13 日阿弥陀山清房院で)

ドイツ 167 本を寄贈
当協会 30 本引受
全国最大規模に

菩提樹植樹先
● 印



(地図、表
杉田 房之)

植樹場所	
我孫子市	新木公園(3)
市川市	里見公園(3)
	東山魁夷記念館(2)
船橋市	阿弥陀山清房院(2)
	(飯山満町)
習志野市	芝山フットサル・テニスコート(2)
	谷津バラ園(1)
	谷津近隣公園(2)
	JR津田沼駅南口(1)
佐倉市	印旛沼サンセットヒルズ(1)
	特養老人ホームさくら苑(2)
	DIC川村美術館(1)
千葉市	千葉県がんセンター(1)
	昭和の森(1)
袖ヶ浦市	東京ドイツ村(3)
富津市	社会福祉法人ノミ会(2)
御宿町	御宿小学校(1)
	布施小学校(1)
	御宿歴史民俗資料館(1)

菩提樹寄贈元:ドイツ連邦共和国大使館
寄贈協力:千葉県日独協会
寄贈本数:千葉県30本(全国167本)
菩提樹原産地:独・ノルトライン・ヴェストファーレン州
植樹時期: 2011年10月、11月

苗木は日本の風土への適性や輸入の際の植物検疫などを考慮し、福島県産が用意された。しかし、この年の東北大震災と津波でこれら苗木が全滅し、急きょドイツ・ノルトライン・ヴェストファーレン州産の苗木が調達された。通関、検疫を簡略にするため、根を洗浄するなどの作業を行なったといわれる。

当協会はまず、写真展「ドイツと千葉県」で日頃からの深いお付き合い先に植樹の引受を打診、そのすべてから快諾を得た。その植樹先が上記の県内地図と一覧表である。1000 年前、平将門の子孫が葬られたとされ林静誠顧問の両親が自宅裏山に開山した寺の境内をはじめ、ドイツとの親交が深い御宿町の小学校校庭など県民たちが憩う公園、庭園などに植樹された。いずれも、ドイツ大使館、当協会幹部、地元関係者ら多数が参加して盛大、厳粛に行われた。菩提樹(Lindenbaum)は、ベルリンの街路樹でも知られ、ドイツでは最も愛される象徴的な樹木とされる。大きなものは高さ 30m にも及ぶものもあり樹形に優れ、害虫に強い。千葉県内に全国で最も多い 30 本の菩提樹の根が張ることは、当協会の活発な活動の証しともいえる。永い樹齢を祈りたい。

<千葉県日独協会の国内旅行一覧>

(須古 正恒)

回数	実施日	人数	内 容
1	1998.3.14.	27	清酒「甲子正宗」醸造元「飯沼本家」見学と懇親会
2	1999.2.6.	20	早春の「御宿歴史資料館」見学
3	2000.4.16.	20	寅さん博物館・矢切りの渡しを訪ねて
4	2003.5.31.- 6.1.	12	鳴門日独協会との交流会(夜行バス利用)
5	2009.4.22.	16	「かずさ路遍歴」バス旅行
6	2010.10.2.-3.	23	安曇野探訪・研修の旅
7	2012.9.14.	36	親睦日帰り旅行「房総半島」
8	2014.3.29.	42	親睦日帰りバス旅行「歴史の町・佐倉。四街道」
9	2014.11.19.-20.	17	研修旅行「鳴門市ドイツ館・板東俘虜収容所跡訪問」
10	2015.10.31.	32	親睦日帰りバス旅行「秋の甲州路」

※注: No.4は(財)日独協会と協賛。上記とは別に、(財)日独協会主催の滞日ドイツ人留学生・研修生と合同バスハイキングに合流したこともある。



<2015 年ワイナリーで>
のべ 245 人参加

協会による国内旅行も活発だ。近年のバス旅行は好企画がそろい、ハイキング、紅葉見物を兼ねた気楽さも人気の一つである。

協会創立 20 周年記念祝賀会**10 月 22 日 船橋グランドホテルで開催**

会場の船橋グランドホテルは、JR 船橋駅北口から徒歩約 3 分（船橋市本町 7-11-1 ☎ 047-425-1111）。

第一部：14:00 開会の辞（金谷誠一郎会長）

14:10 日独両国国歌斉唱

14:15 来賓祝辞（千葉県知事、船橋市長、習志野市長、ドイツ大使、（公財）日独協会会長）

15:00 記念講演：Felix R. Einsel 氏＝ゾンデル・&アインゼル法律特許事務所代表弁理士、（公財）日独協会理事 / 演題「日独関係の変遷を通じて見る日本の将来」

第二部：16:10 金谷会長挨拶

16:13 祝辞&乾杯

16:20 チター演奏と対談（内藤敏子理事、平尾浩三名誉会長） **※懇親会費 6,000 円 / 1 人**

16:50～18:10 お話しと懇親会

Düsseldorf の奨学生 6 人、研修に来日

デュッセルドルフから 6 人の奨学生が 8 月 17 日、来日した。千葉県と友好関係のある現地の「日文化交流育英会」と、「デュッセルドルフ独日

**< 会員と交流の奨学生 >**

奨学財団」が毎年日本に興味を持つ若い学生・社会人を約 4 週間派遣するもので、今年は 100 人の応募者から選ばれて日本各地で研修した。来日 2 日目のこの日、県内数か所を見学した後、18 時から船橋の和風居酒屋で当協会の懇親会に参加した。2 時間、会員 11 人とビールを飲みながらお寺や料理、邦楽、日独の炭鉱などについて意見を交換し日本理解を深めていた。

（杉田 房之）

恒例のビール

祭は残暑厳しい



笑いと歌声が絶えなかった

♪ ♪ 2016 ビール祭り ♪ ♪

9 月 3 日(土)16:30 から行われた。会場は東京港区新橋のドイツミュージック・レストラン「アルテ・リーベ」。金谷誠一郎会長の「今年はドイツビールにとっては記念すべき年。1516 年 4 月 23 日の純粹令が発令されて 500 年。大いにビールを楽しもう」で、*Ein Prosit!*

クライマックスは宴半ばにやって来た。司会が名人芸に達した感のある須古正恒副会長の「さあ、皆さん立って」。参加者 50(会員 34、会友 16)人が「ピヤ樽ボルカ」のピアノに合わせて歌いながらテーブルの周りをステップ＝写真。用意のビール、ワインや 8 種類のソーセージ 40 本、7 種類の料理がいつしかなくなっていた。

**◇これからの催し**

催しもの	開催日	曜日	時間	場 所	内 容 な ど
習志野ドイツフェア (当協会協力)	10/22	土	11:00	JR 津田沼駅南口	ドイツ・ソーセージ発祥の地、地元産のソーセージやビール、ワインの販売。
	10/23	日	-19:00	公園とモリシア	歌と踊り。当協会の活動、ドイツとの交流などを写真展示。
日帰りバス旅行 	11/5	土	8:00	8:00 JR 千葉駅	参加費用 8,000 円 / 1 人(予定)。申込は 10/12(水)まで 080-1139-8544
	(定員 43 人)		-18:30	NTT 前集合	須古正恒・副会長へ。10/14 以降の不参加はキャンセル料負担。
					コースは千葉駅～<館山道・圏央道>～大多喜駅～<いすみ鉄道>～大原駅～ヤマサ醤油工場～銚子駅～<銚子電鉄>～外川駅～犬吠埼灯台～屏風ヶ浦～<千葉東金道路>～千葉駅
ドイツ軍人慰霊祭 	11/20	日	11:00	船橋市営習志野霊園＝同市習志野 2-5-9 / Tel: 047-465-5457	第一次世界大戦で俘虜となり、スペイン風邪で死去したドイツ兵 30 人の霊を弔う。ドイツ大使館の武官ら関係者、協会員ら多数が集う。
Xマス & 忘年会	12/10	土	17:30	「コール ポニョポニョ」	会費：4,500 円(予定) 別途、案内。出欠のメ切りは 11 月末に。
			-20:00	習志野市津田沼 5-4-15	Tel: 047-452-5123



花井 清さん(86)＝(財)日独協会常務理事。ドイツ連邦共和国一等功労十字賞を受賞。千葉県日独協会設立発起人の一人。9 月 1 日死去され、6 日築地本願寺でご家族中心に告別式を済ませました。「協会設立の思い出」を「Die Eiche 総集編(I)」に執筆。当協会へのご尽力に感謝し、謹んでご冥福をお祈りします。

※コラム「ドイツと私」は休載します

編集後記

協会 20 年の足跡をたどる Die Eiche 10 月号の編集作業は、深い感慨を伴うものでした。ドイツとその文化に熱い思いを抱き、日本を愛した先人と会員が重ねてきた協会の活動は厚く、豊かな地層を成しています。協会活動のすべては創刊以来の Die Eiche にあります。今回の誌面は、積み重ねられた地層を分かりやすく、視覚的に記録するように努めました。2 年前の「慰霊祭特集」(Die Eiche 91 号)、今年の「Die Eiche 100 号特集」＝いずれも「Die Eiche 総集編(II)」に収録＝に、今回の誌面を加えた 3 号の Die Eiche で、千葉県日独協会の歴史が概観できると思います。私たちは先人たちのためめめ努力を受け継ぎ、楽しみながら地道で個性豊かな地層を重ねていきたいと思っています。(田中 正延)